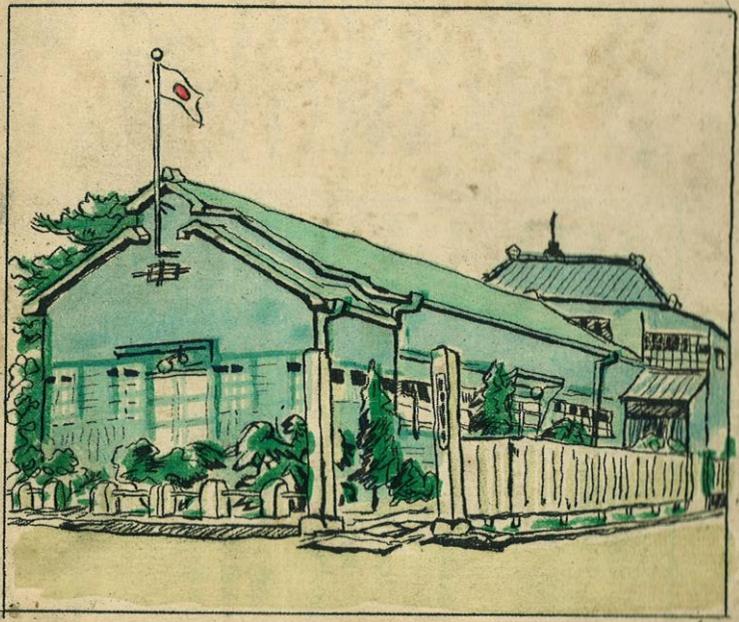


昭和廿六年七月十五日発行

さかえ

七 月 号



栄村公民館

No. 8

公民館

—— 栄村十景 ——

うす縁すぢに新装成つた栄村公民館 九八坪の大ホールと会議室 階上二二坪の図書館とにわかれてゐる。若いも若きも男も女もともに集まつて、新しい村づくりのために眞剣に話し合う公民館 かくて民主的の教養は培はれるのである。遠い将来のためにしっかりと基盤をつくと共に、現在を少しでもよくしたい。公民館は全村民のよりどころである。栄音頭に手ぶりそろえて、おどる村民のあかるい顔、そこに労苦を忘れて、明日への希望がひらけている。

謙慮けんりょな心になつてわつしんに講議こうぎにき、いる成人作物の研究に集る人達 商工会の会議 誰れでも気軽に集まれるわれらの公民館 公民館の発展と産業と文化の向上は平行して進むのである。

知識を求めて図書館に集る日もさして遠い先ではない。健全な計画をつぎつぎに充実して平和栄村の興隆を約束しているのである。

—— 猪俣 三郎 ——

目次

| | |
|--------------|------------|
| 表紙 栄村十景——公民館 | 浦田 正夫 |
| 題字 | 村会議長 岡田 節二 |
| 扉 解説 | 中学校長 猪俣 三郎 |
| 白菜講座 | 家畜を飼育する皆様へ |
| トマト実態調査 | 栄村勢概要 |
| 衛生問題 | 保健婦により |
| 人事消息 | 村民の声 |
| 童話と児童観 | トマト立毛品評会 |
| 公民館役職員 | 電話室 |
| 農協役職員 | 紋章 |
| 共済評価委員 | バス汽車時刻表 |
| 中学校便り | 編者後記 |
| 婦人団体調査 | 原稿募集 |



白菜講座(一)

公民館産業部技師

豊島 実

練床苗について

秋蔬菜の王者、白菜は吾が米村の特産である事は自他共に認められてゐる既定の事実である。此の事実を更に向上発展させる事は、生産者各位の努力如何によつて決定せらるる問題である。栽培上の点については皆様相当の技術者であり又経験者でありますから、今更喋々を要する必要はないと思ふが、老婆心ながら、白菜の育苗行程の標準を記述して参考に供しましょう。

先ず第一に殖土の問題である。殖土は廐床の上土或は別に堆積せられてゐる堆肥を用ふる事。殖土は水分の含有量が多過ぎる場合は少し乾燥することが良いが、干しすぎると肥料分を消滅するから篩を通し得らるゝ程度が良いと思ふ。篩は七分目位が良い。量は各人の栽培面積の廣狭によるが、一坪に対し篩を掛けたるものを石油箱にて十二杯乃至十三杯を標準とす。

若し殖土に病苗又は害虫等の潜伏の疑ある時は、クローリング等を使用前二週間、前に消毒して置く必要がある。

枠は巾四尺長さ十二尺にして、高さ三寸五分の又キを立てるものを標準とし、設置の場所は見付の良い所で、日光をさえぎる物件のない所を選ぶことが良い。若し適当な場所がない時でも朝陽又は当る所でないとなす。

床面は極めて良く平にし、少し凹凸のない様にす。練床が良く腐反するやうに平にした床面に砂を一枠に対し一斗(一斗五升位平均)に散布する。

練り土は水分が七〇%位に練り上げる。七〇%の水分は練り土を握りしめて水が滴る程度である。練る程度は適度の水が全量に行き渡りさえすれば良いので足等で踏みつけて練る事は宜しくない。練り上げたものがパサ／＼してゐる程度が良い。それを枠の中へ入れて平にし、厚さのないやうにして田鍬様のもの良く打ち込む。その際水分が不足しますから如盤にて水分を補ひ乍ら良く平に均らしてからその床面を消毒する。薬剤は硫酸銅四〇分を水一斗に溶かしたるものを一枠

(2) に二升(三升)撒布する。練土をつめてから長く放置すると、床面が亀裂するから、直ちに縦横二寸五分角の定規を當て、莖又の鉋丁で裁断する。一枠で二寸五分角のものが七六八個出来る、さて、下種であるが、一コマに三ツの播種穴を作り、一穴に一粒宛種を落す。播種後直ちに殖土の細かいものにて覆土し、均平に灌水する。当時は暑気高く俄雨の多い季節であるから、雨覆ひをする装置を準備する事が良い。播種直後に雨に打たれる事は発芽を極めて悪くする。播種適期は八月二十日中心が最も良いと思ふ。早播きは腐敗病を招くのであり、昨年如き病害を再び繰り返えさぬやう充分考慮されたい。

次に、播種後の手入れであるが、播種期を八月二十日とし、午前中苗床を作り、出来上り次第直ちに播種する。翌二十一日晴天なる時は床面が乾燥するから午後一面に灌水する。三日目二十二日の午後には点々と発芽したものが見ゆる様になる。床面の状況により灌水する。四日目二十三日には一齊に発芽をなし、恰も餅地の如く整然たる凶案模様を見る如く、誠にすがすがしい感じのする発芽状態になる。その時、詳細に不発

芽又は播種浅れを調べて播き直しを行ふ。五日目の二十四日、好天なる時は午後適度の灌水を行ふ。六日目の二十五日には第一回の間引を行ひ一コマ二本立とする。間引は子葉の淡黄色にして軸柄白く短かきものを残すこと。軸柄長く子葉濃緑色のものは除くこと。成長度は本葉が一寸見ゆる程度になる。其の夕方白菜の大敵である心喰虫の駆除を行ふ。薬剤は除虫菊木灰を使用する。除虫菊木灰は、木灰二に対し除虫菊粉末一の割合に混入し、一晝夜密閉して置きたるものを、撒粉器にて充分に撒布する。是は忌避剤であるから心喰虫の成虫(蛾)を白菜の苗床に寄せつけないためである。心喰虫の予防には此の方法が最も効果なく、使用法は簡單で最も効果的である。七日目の二十六日、天候晴明にて乾燥度の高い時は、午後一面灌水する。八日目二十七日の午後第二回の除虫菊木灰の全面撒布を行ふ。所要量は一枠に一回割合内外にて足りる。九日目二十八日、苗も相當に伸長し本葉二枚、三枚程度になり、床面も込み合つて来るから、第二回の間引を行ひ、一箇の練床に一本立とする。其の際防除の薬剤撒布は行つていくも多少心喰虫の侵入を受けて居る

のが見受けられたなり、D D T乳剤千倍液を撒布すれば大抵の被害株は完全に駆除が出来る。十日目の二十九日、十一日目廿日等は相当成長して来るので特別に乾燥する以外は成るべく灌水を行はず、十二日目の廿一日或は九月一日になれば、本葉四枚乃至五枚位になり相当込み合つて来るので、松座を行ふ。一コマ毎に丁寧に鉋丁等を使用して株別けを行ふ。其の際中側にあるものは成るべく外側になる様にコマとコマとの間隔を四五分位宛高して松座する。当時は極めて暑気厳しく日中は萎凋するから其の時は少量の葉水を与へ過度の萎凋を防ぐことが良い。二三日過ぎると萎凋度も無くなり見るからに丈夫そうな苗になつてくる。松座後七日以内に本圃に定植する。定植期は本葉六枚位の時期が最も適期とする。其の適期を過ぎると苗の根が夥しく練床外に露出し苗が徒長する。そうすると本圃に定植して活着が悪くなる。新根が練床の外に將に出でんとする状態の時期が最も適期である。要するに前述の練床の大きさは育苗期間二十日間である。この育苗行程を標準として其の間の変動は、苗そのものの状態を考へ適宜の処置を講ぜられたい。

トマト品種別作付実態調査

七月一日現在にて行ひました本年度トマト作付実態調査の集計を発表いたします。品種別欄中「其の他」に含まれるものは、雑種約二町六反、ポン子、福壽、ヒンク、デリシヤス等が約二反歩です。

| 品種別 | 総作付 | 世界一 | 新星 | 在来種 | 昭和錦 | 豊玉 | 其他 |
|-----|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 上境 | 五、二二二 | 五、三三三 | | | | | 三五 |
| 中根 | 九、四二四 | 六、四〇〇 | 、四三三 | 、六〇〇 | 、一五三六 | | |
| 土嘉屋 | 八、一一一 | 七、七三三 | | | 、九一五 | | |
| 松塚 | 五、二九九 | 二、九九九 | | 、一三〇〇 | | | 、一〇〇〇 |
| 大上 | 二、七二二 | 八、五三三 | | 、一三〇〇 | | | 、一六二五 |
| 大下 | 一、六二五 | 二、六二五 | | 、五七 | 、一六二六 | | 、二〇〇〇 |
| 横町 | 三、七〇〇 | 三、七〇〇 | | | | | 、二〇〇七 |
| 金田 | 一、七二五 | 七、三二五 | | 、一、七〇〇 | | | |
| 金田 | 三、三二五 | 二、八〇〇 | | | | | 、五二五 |
| 古米 | 二、八三三 | 二、六二二 | | 、二〇〇 | | | 、二〇六 |
| 吉瀬 | 一、六一六 | 七、五五 | | 、三〇〇 | | | 、三九〇三 |
| 合計 | 三八八二六 | 八〇五三三 | 二、五〇〇 | 三、四〇六 | 二、五二二 | 二、三二六 | 二、八四六 |

衛生問答

月経時に圧痛

A 患者の主人 場所 岡田医院
 B 患者(妻) 時 五月六日
 C 医師岡田久 午後三時

A 先生今日は
 C やあ！ 今日はず分暑いですね
 A 今日先生に家のH子について伺いに来たのです
 C 一体何ですか
 A 先生、実はH子が一年位前から、月経時になると下腹部に圧痛があると言っているのですが
 C それはいけないですね 本人からよくききたいです
 A 先生、一緒に来てますよ
 C それはよいことですね。こんなことは、御主人と二人で来るのが一番理想的なのです。では呼んで下さい。
 A オイ、H子！
 B ハイ！ 先生今日は

C やあ今日は、暑いですね。どうです、もう田植も終りましたか
 B 先生まだですよ
 C あ、そうですか これから忙しくなるから大変ですね
 B ハア
 C 所で奥さん！ 御主人に聞いたのですが
 B 先生！ 一寸言い憎くくて今迄来られなかつたのですが、どうも段々強くなるので今日御訪ねしたので
 C 本當に遠慮なく言つて下さいよ
 B ハア
 A でわ、先生よろしくお願ひ致します。
 C ハアー 承知致しました
 B 先生、実は一年位前から、メンスの時に下腹部に圧痛があるのです。それで過日丁市の某婦人科の先生に診て頂きました。
 C そうですか、それで、その先生は何と言いました
 B、何でゆ 子宮の位置が異常だ とのことです。
 C、あ、そうですか

B、それで、その先生が手術をせねばならぬ、このことです。

C、成程、そうですね。

B、それで先生、私、手術となると、何だか恐ろしい気がして

C、尤な事です。然し今は手術は簡単ですがね

B、私もそう伺ったのですが、やつぱりねえ

C、いつ頃診ていた、きましたか

B、丁度十日前です。

C、それで、それからどう言う風にしました

B、私、恐ろしいので売薬を求めて服用して居ります

C、いくらかよくなりましたか

B、いや、一寸もよくなりません、かへつて前よりも悪くなつたようです。

C、それはいけませんね

B、先生、何とか早く、しかも手術しないで治る方法がないでしょうか

C、さあ、それは無理でしょうね

(5) B、そうですね、やつぱり手術ですかね？

C、それが一番よいでしょう。然し一回診せていた、

きましよう

B、お願いします。

C、先ずBさん、こんな事が起るもとはですわ、三つあるのです。

B、なる程ね

C、先づ第一には機械的原因に因る、子宮位置異常次に、炎症性位置異常、最後に、体質的位置異常と三つあるのです。このうちのどれに属するか、拜見しましょうかね。然しその前にこの三つのゆゑを説明しましょう。

B、是非お願いします。

C、第一番目は、婦人は一般に便秘し勝ちでその上小便を長い間我慢したり、重い物を負つたり、身体を強く動かすような仕事、或いは、産後の不養生等から起る場合で、子宮は大体後屈を起します。又卵巣や輸卵管(昔は、ラツパ管と言いました)に腫れ物が出来、その急に圧迫を受けて、子宮が左右に倒れる場合等です。

B、成程ね、それを伺うと、産後三日位で起きるのはいけないのですね

(6) C、そうですね、そんな無理をするから、農村では

B、よく判りました。それでは次

C、次は、炎症性位置異常、これは子宮の外膜炎、卵管炎、卵巣炎の様な性器の炎症とか、普通の腹膜炎の後、又は結核性腹膜炎、或は虫様突起炎、直腹周囲炎等の為^すに生ずる子宮が、腹膜や腸に附着^す、為に子宮が常にその方に引かれて起きるのです。

B、あ、そうですね。一寸私には、はつきりしないですね

C、どこがですか

B、あとでも尋ねしますから、先生次の話しをして下さい。

C、はい、かしこまりました。次は体質的です。これは、日本の婦人に多くて、どちらかと言うと、都会より、農村に多いのです。

B、そうすると、農村では、栄養と休養とがうまくいかないからですか。

C、そんな所に大きな原因があるでしょうが、やつぱり、農村では昔からの色々な風習がありますからね

これに多く支配されると思います

B、やつぱりC、にも生活改善が必要ですね

C、そうですね、そうですね

B、では、どんな事ですか

C、まあ、生れつきに体質が弱い、又は生れてから周囲の色々な状況で、栄養がとれない。それで筋肉の発達が不良で、無力体質で、婦人は生理的に胃下垂などを起し、子宮を圧迫したり、その上、子宮の位置を正しく保つ為に必要な、子宮の鞅帯(ヒモン)の発達も悪いので起きるのです。

B、よく判りました。

C、では、診せていたがまししよう

B、先生、どうでしょうか

C、Bさん、判りました。これは三番目に当はまりますよ、既ちヒモが一寸のびて居るのです。これは一寸の手術ですぐよくなりますよ、

B、そうですね、やつぱり手術ですか

C、大した事はないですよ、十五分位で終るし、痛みも一寸もないですよ、早速明日やりましよう。

B、はあ、然しもう忙がしいですから、田植が終つて

人事消息 (六月分) 戸籍係

婚姻の部

| 氏名 | 配偶者氏名 | 備考 |
|---------|-------|---------------|
| 大守 氏名 | 配傷者氏名 | 備考 |
| 金田 竹中とよ | 青木善次郎 | 栗原村上野より |
| 古来 豊島重信 | 山田ミマ子 | 神奈川県中郡成瀬村下落合へ |
| 豊島てる | 中村文吉 | 筑波郡大塚村大曾根へ |
| 久松と志 | 伊藤 茂 | 土浦市虫指より |
| 中島ちかの | 細田秋二 | 九重村妻木へ |

出生の部

| 出生月日 | 氏名 | 大字 | 父 | 母 | 備考 |
|------|-------|-----|----|-----|----|
| 六、一 | 張替洋子 | 土器屋 | 登 | ゆき | 長女 |
| 五、二八 | 沼尻光雄 | 松塚 | 万年 | 愛子 | 三男 |
| 五、一〇 | 久松千鶴子 | 古来 | 三郎 | 井子 | 二女 |
| 六、一八 | 豊島豊己 | 古来 | 静雄 | さく | 二男 |
| 五、二九 | 寺田達雄 | 古来 | 五郎 | 多美子 | 長男 |
| 六、一〇 | 打越耐子 | 横町 | 秀夫 | 文子 | 長女 |

から御願いたします。

C. Bさん! そんな事では駄目ですよ、一日も早くやらなければ... 免に再御主人に伺つて見ます。

C. Aさん!

A. はあ!

C. 今Bさんを診せていた、きましたか、これはやつぱり手術ですよ、Bさんは田植が了つてからと言つのですが、早い方がよいのですか

A. そうですか、それでは先生、明日来ますからよろしくお願ひ致します。

C. そうした方がよいでしょう。ではBさん、明日来て下さいよ

B. はあ、承知しました。

A. B. どうも先生、すみませんでした。では、明日伺います。御免下さい

C. あ、御免下さい。では、又明日

【註】 次の次の日手術して、現在元氣になりました。

(7) この時丁度小生男児生れて、こんな川柳が生れました。

○ 男です産婆の声も張り切つて

○ 出産の沙汰さえ軽き端書なり

死亡の部

| 死亡月日 | 氏名 | 年令 | 大字 | 筆頭者との続柄 |
|------|-------|----|-----|---------|
| 六、一六 | 沼尻とり | 七一 | 横町 | 本人 |
| 六、二二 | 飯島定次郎 | 六七 | 土器屋 | 本人 |



童話と児童観

酒井 邦夫

日本の童話、世界の童話、実に童話は広範囲に渡つて我々の生活に流れております。中でも、アンデルセン、グリム、イソップはあまりにも有名であり、日本では最近小川未明さんの童話が非常に有名になつており、社会科の資料とし、人間教育として童話の必要性が重視されて来ました。そうして見ると童話は、歴史の出来ない人生の方向づけであるとも申されましよう。幼き頃先生や、父母から聞いた童話が、どんなに大きくなつた時代でも、心の底まで暖か味を感じるものです。苦しみ、悲しみ、幾多の困難に合い、自己の身がどん底に突落されるような場合に合つた時、ほの

かなる童話に流れる精神が時代相応に又、人間的に何らかの方向を持たせて呉れる事を、誰しも経験する事でありましよう。美しい空想的童話は、現実的でないにしても、幼き児童には憧れの窓であり、彼等が大きくなつた時、その空想を實現しようと願つている事が、人間を作り社会を改革して行くものではなからうか。それにしても現実的な童話はどんなにか、具体的に社会生活を彼等の身につけさせることが出来るであらう。私は、幼き頃毎朝目を醒すと父の寢床に入つて父からの童話を聞く事が楽しみでした。或時父は涙を流して語つた事を今でも記憶して居ります。その時父は「ラクタの商隊」といふ話をして呉れたのでした。なにしろ私が小学校に行かない頃だったので、あまり記憶がありませんが、なんでもラクタの商隊の中に一人の少年が、或町に父がある事を聞いて尋ねて行くのでした。少年は父に会える気持で一杯でした。キマラパンの鈴の音も遠くなつて砂漠の中に消えて行きました。夜になつてお空には宝石の輝きも星輝も輝き、少年は明日は父に会へると思ふと、その夜は眠れませんでした。すると急にお空は雲が出て眞暗になり風も出

て来ました。少年達の休む砂漠のテントの中では親分らしい者が、次のやうな事を申し上げておりました。少年は、じつと耳を傾けました。「実はな、こう風も出て来ては道の判らなくなるし、我々の水も大分不足してゐる。なんとかしなければなるまい。すると他の男が、「大変ですよ、私達のゆつて来た水はもうすっかり呑んでしまつたからね、それに一寸オワシスは見つからないし——」すると別の男が、「どうだらう。あの少年のラクダを殺して中の水をとつたら——」。あたりはしゆんとしていた。それを聞いた少年は、あまりの驚きに身がガタガタふるえ出して来ました。少年は暗闇の中に自分のラクダをさがし、眞暗な真夜中を一人旅を続けて明方父の居る町に着くのでした。この話が今の私に非常に印象づけられて居ります。又枚多い童話の中から父の暖かい味と童話に流れる思想が、人生に大きな教訓を与へ、目に見えない偉大な力が働いている気が致します。学校で何が一番たのしみであるでせうか、運動やスポーツも楽しみであり、泪が、教師の話聞くのが何よりの楽しみであり、泪を流し乍ら聞いている児童を見るに私は、幼き頃の自己を

思い出し、やがて彼等が成人して社会人となる時に、童話の力が大きな役目を果たすのではないかと思つています。学年を低中高と分けて見ると、低は実にお話が好きであり、現実から離れた擬人化された童話に興味をもちつておるし、中は胃腸的で、女性悲しいお話が好きです。高は現実的な話に興味があり、社会生活を話を通じて理解させることに、大変役立つております。夕涼みの一時、祖父さんや、祖母さんが団扇を片手にお話して下さる事は、とぎれとぎれであるけれども、実に深い意味を持っています。出来得れば、お父さんかお母さんのお話を、チャンスをにがさず、お話しで載けたら、どんなに幸福で楽しい事でしょう。児童はお話がとても好きです。「童話を通して人間を作れ」とか、実に当を得た言葉でありましょう。

短 信

◇村のNOIと部落自慢は、紙面の都合上休載いたします
◇栄村の「子供会の歌」が作詞作曲されまして八月発表される事になりました。

栄村公民館役職員 廿六年度

- 館長 飯島 吉光
副館長 藤沢勲兵衛
主 事 豊島 実
会 計 主任 沼尻昌雄 沼尻 弘、岩瀬 謙
書 記 豊島伊三郎 市村芳男 鷹巢 清
分館長 酒井徳市 平島徳市 須藤定之助 飯島勲
一 郎 久保田茂一郎 沼尻 正、塚本積善
酒井寅之助、岩瀬中 豊島正雄 柳沢春一
運営審議会委員 委員長
委員、比岡三郎 根本養三、猪俣三郎 久松信一
久松 茂 菊地民雄 比岡たま 岡田節二
酒井晋 小林善市 大久保四郎三郎 軽部
哲太郎 根本一之、酒井きよ、沼尻敬一、
猪俣寅吉 沼野保之助 久保田定一 高梨
久子 橋本義弘 沼尻一
企画部 部長 塚本清 副部长 豊島一之丞 大津忠雄
小倉松三郎 酒井作衛 酒井澄子 沼尻正男
教養部 部長 比岡たま 副部长 久保田茂又の
市村徳夫 豊島 亨、酒井治郎 酒井福太郎
酒井 隆、岡田啓阿、飯島長太郎 塚本慎一
酒井八千代、赤塚世意子 節本節子 室町孝
平島祐助、須藤茂雄 横山秀鴨 根本嘉衛
産業部 部長、久松茂 副部长 沼尻久好 本橋一男
酒井光男、酒井助衛 比岡弥一郎 沼尻武男
久保田健一、飯島重夫、酒井邦夫、松井恭雄
小林やす、大津治雄、根本仁也 沼尻善一郎
藤沢邦雄 酒井宗一、柳沢春一、沼尻美智彦
柴沼孝雄 豊島 勇 酒井茂一 久保田一郎
大山重右工門
保健体育部 部長 岡田久、副部长 酒井良市 酒井浩
飯島虎之助 酒井隼夫、五頭常盤、大山花子
久保田浩一、倉田利夫 栗栖三男 石田良子
飯島忠之助 比岡とく 鷹巢忠市、藤沢達
岩瀬芳一郎 根本嘉平治

奉仕部

部長 豊島 寛、副部長 酒井浩 増山茂

久保田泰 平島作太郎 酒井のう。久松志津

酒井治部 片岡ちやう 鈴木留之助 木村憲

岡政夫 酒井昇 飯島勘一郎 米瀬要藏

沼尻正 岩瀬伸 五頭良雄 飯島保一、上方

清次 豊島清栄

弘報委員 委員長 大久保四郎三郎

藤原清 野口省三、荒井まさ、永田歌子、

久松久夫 酒井 茂、飯島幸之助、大津治郎

張啓 登、酒井茂市、浦田正夫 岩瀬芳一郎

永田常吉 宮本勝延 寺田好雄 五頭武雄

菊地民雄 平島照雄 市村芳男 豊島伊三郎

農業協同組合役員

五月改選

組合長理事 久松 茂

常務理事 塚本 清

理事 金融部委員

片岡弥一郎 豊島一之丞 根本元一

理事 販売部委員

酒井 滿、根本虎雄 沼尻 正

理事 購売部委員

飯島長太郎、酒井長利、沼尻 晃

理事 生産部委員 本橋一夫 黒田芳助

理事 園芸部委員 久保田実 酒井治部

理事 加工部委員、飯島重夫 室町盛夫

監事 市村徳夫 小倉松三郎 酒井宗一

参事、室町 正

会計主任 竹中清治

農業共済組合評価委員

一般評価並に家屋評価委員

久松 茂、沼尻 弘、豊島 実、大津治雄

農作物評価委員

酒井喜市 平島照雄 飯島重夫 久保田茂一郎

塚本久弥 酒井重利 沼尻 茂 沼尻 久好

諸川辰雄、寺田兵吾 柴沼高雄 根本 一之

蚕繭評価委員 松下登吾

家畜評価委員 豊島正雄 沼尻三郎彦



中学校便り

一学期の反省の大意をお知らせ致すと共に夏休みのお願いを述べて見たいと思います。

生徒の学習態度 が、自主的になり落ち着いて参りました。特に男生が真剣に習書するようになりました。この自ら学ぶ態度が目立って来たのは、学校図書館の充実が非常な力になつて居ると思ひます。昨年度の図書寄附された事、職員一同感謝して居ります。

第一学期の考査の結果より見て、基礎学力の低下している事が痛感されます。道員教科として考えられる國語力、計算能力は何と申しても基礎であります。基礎学力が充実して、日常生活の諸問題が解決出来る人間に育成されてゆくのでありますから此の点に父兄と共に努力してゆき度いと存じます。生徒の何々について十九日の父兄会で懇談してある事と存じます。

生活態度 は昨年度までと比較して優れて居りまして、喫煙なども特殊な二三名ではないかと思われまふ。運動面では運動場が狭いので種々の障害が現はれて

居ります。他校に比較して貪血する生徒が多い。他校と試合して成績が悪い。質が優秀であるのは、昨年に班の新記録を六種目も持つてゐる事で判ります。今年も野球は最下位で、生徒は誇りを失いました。晴れの場所で破れる事は青少年の誇りをさすつて、あらゆる生活に劣等感を持ちますので、職員一同心配して居ります。青少年の心身共に、すこやかな育成発達をまつ上に、運動場の狭少不備は大なる影響であり、日夜痛心して居ります。

夏休み四十日間の生活は、生徒自らの計画で生活するやう指導して休みに入らせまふ。校外生活は子供会を中心として指導する考へです。休中の登校日は男生五日、女生六日で、主に健康調査、学習の方向づけ、生活上の話し、農場の手入などを致します。具休策は部活PTAでお話ししてありますから、省略致しますが、特に水泳、食生活、友人関係、夜間外出には注意して頂きます。

九月には、全生徒が健康で、良い習慣と、良い作品を土産に、登校される様、御指導御協力の程をお願い致します。



婦人団体の調査

婦人会

茨城県教育委員会に於ては、婦人団体の活発なる運営を図る目的で、参考資料として左記の様な婦人会の調査がありました。

婦人団体の機構、経費 昭和二十五年支出金額並に昭和廿六年度収入総額予定、会費以外の経費捻出法
会員数、会員資格、学歴別、職業別、年令別、夫の有無、調査は町村婦人会単位の調査であるが、市町村内に支部が設置されてあれば、本部と支部とを別々に調査する事、本調査は地域婦人団体に限らず、其他の社会教育関係婦人団体（友の会、ガールズスカート、リィカスク○○会）について調査する事
右の移牒により本婦人会員の調査をしましたのをお知らせします

一、会員数 四九六名

学歴別 小学校卒 三八七名 女学校卒 九一名
師範卒 二名 専門学校卒 一六名
高師 大学出身 ナシ

職業別 農業 三六七人 商業 五〇人

工業 三四人 医師 四人 僧侶 三人

官公吏 二一人 無職 一七人

年令別 自二〇才至二九才 八〇人

自三〇才至三九才 一七四人

自四〇才至四九才 一七七人

自五〇才至五九才 五五人

六〇才以上 一〇人

夫の有無 有夫 四五四人 未婚 四人

未亡人 三八人

二、昭和廿五年度の主な行市 省略

三、昭和廿六年度の事業計画 省略

廿五年度に著しく進歩したと思はれ点 其他反省希望事項

桜山神社の進納金募集

上境 四六人 五百二十円 中根 五七人 一千元
土居屋六〇人 七百八十円 松塚 四七人 四百九十円
大 六〇人 一千百円 横町 一二二人 百二十円
金田 六九人 千七百七十円 古米 五二人 七百九十円

吉瀬 四四人 六百六十円

合計 四四八人 六千六百三十円

皆様の御協力により沢山の進納金が集まり 早速櫻山神社へ送りました処、皆川官司より御丁寧な礼状が参りました。皆様に厚く感謝致します。

電気料値上絶対反対署名運動

右署名運動の結果、部落別の結果は左の通りです。

上境 一四四名 中根 二九〇名 土居屋 二八七名

松塚 一七五名 大 二六五名 横町 一〇四名

金田 三一五名 古米 二一四名 吉瀬 一五三名

合計 千九百四十七名

石鹸の共同購入

梅雨から夏へかけて、特に保健衛生に心掛けねばならない季節です。本会では、良質安価の石鹸を、東京銀座の養生堂本店より直接共同購入いたしました。

洗濯石鹸 十二箱（一箱百八十箇入）

浴用石鹸 二箱（一箱三百六十箇入）

洗濯石鹸は本月尚 五箱購入しました。

家畜を飼育する皆様へ

共済組合

皆様の飼育する家畜（牛馬 綿羊）には共済保険制度が有りまして、この共済保険に全頭加入しておるわけです。不慮の災害（死亡・廃用）が発生した場合、相互の力に依り保険金が交付される仕組みになっております。この共済制度を運営する為、次の事項を心得ておかれ、事由発生の際は 組合（大津）に御連絡下さい。其の責を負えない場合、不幸にして共済事項が発生しても、其の責を負えない場合があります。

- 一、新たに家畜を購入した場合
- 二、飼育家畜を交換した場合
- 三、飼育家畜を譲渡した場合
- 四、飼育家畜が死亡した場合
- 五、飼育家畜に廃用事故が発生した場合

即ち ①急迫な疾病又は不慮の傷害により死に類した時 ②不慮の災害により救出する事の出采ない場合 ③骨折・跛行・眼失明で使用価値を失った場合 ④盗難に合った場合 以上の場合はすぐ御連絡下さい

栄村勢の概要 其の一

役場の位置 茨城県新治郡栄村大字松塚土巻屋前

栄村の面積 一、〇四〇番地 (建坪七一坪七五)

東西一里十二町 南北一里十町
 地 拔 二七、一米(約八十九尺)

| 地目 | 面積 | 賃賃価格 |
|------|--------|---------|
| 宅地 | 八〇町歩 | 二二、九九六円 |
| 田 | 二六一町歩 | 六四、八四六円 |
| 畑 | 二八九町歩 | 三〇、八三九円 |
| 山林雑地 | 一二〇町二反 | 一、五〇九円 |
| 計 | | |

| 世帯数 | 男 | 女 | 人口計 |
|-----|-------|-------|-------|
| 六四〇 | 一、六一九 | 一、七一六 | 三、三三五 |

定員 十六名 現在 十六名

議員党派別 無所属
 議長一、副議長一、監査委員一、教育民生委員四、総務委員五、経済委員四、出納検査立会人三

執行機関
 役場機構
 村長一、助役一、収入役一、評価員一、主事一、技師一、書記七、書記補七、使丁二

庶務課 人員三人
 一般庶務学事 土木、警察消防、社会教育

選挙
 庶務課 人員五人
 賦課徴収 土地家屋

経済課 人員五人
 経済統制、産業、統計、配給

社会課 人員七人
 保健衛生、戸籍寄留、社会、厚生

昭和三十六年度歳入歳出予算

| 歳入 | 科目 | 予算額 | 率 |
|-----------|----------|-----|---|
| 一、村税 | 五七七、一〇七六 | | |
| 二、公企業及賦課金 | 四、三二〇 | | |
| 三、使用料及手数料 | 一六、六一〇 | | |
| 四、国庫支出金 | 一〇〇五、五〇七 | | |
| 五、県支出金 | 一四七、九八二 | | |
| 六、寄附金 | 一三〇、三〇〇 | | |
| 七、繰越金 | 一〇、〇〇〇 | | |
| 八、雑収入 | 一一〇、〇〇〇 | | |
| 九、繰入金 | | | |
| 合計 | 七一九六、二九五 | | |

| 歳出 | 科目 | 予算額 | 率 |
|---------|----------|-----|-------|
| 一、議会費 | 一二九、五四〇 | | 一、八八 |
| 二、役場費 | 二二六九、〇三九 | | 三二、五二 |
| 三、警察消防費 | 二一八、七五〇 | | 三、四〇 |
| 四、土木費 | 四二九、二〇〇 | | 五、九六 |
| 五、教育費 | 一四八七、五七五 | | 二〇、六七 |
| 六、公民館費 | 七五六、四〇〇 | | 一〇、五一 |

| 特別会計 | 国民健康保険 | 歳入歳出予算額 | 二八四六、一二三円 |
|-----------|----------|---------|-----------|
| 七、社会労働施設費 | 三三二、四三〇 | | 四、六二 |
| 八、保健衛生費 | 二五六、五〇〇 | | 三、五六 |
| 九、産業経済費 | 五九七、〇九〇 | | 八、二九 |
| 一〇、賦産費 | 一一一、一七一 | | 一、六八 |
| 一一、統計調査費 | 二八、〇〇〇 | | 〇、三八 |
| 一二、選挙費 | 六三、一〇〇 | | 〇、八九 |
| 一三、公債費 | 二〇、〇〇〇 | | 〇、二九 |
| 一四、雑支出金 | 三八七、五〇〇 | | 五、〇三 |
| 一五、予備費 | 一〇〇、〇〇〇 | | 一、三九 |
| 合計 | 七一九六、二九五 | | |

| 昭和三十五年度村税 (昭和廿六年度四月末現在) | 税目 | 調定額 | 収入落額 | 収入未落額 | 収入率 |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|-------|-----|
| 村民税 | 二、三七五、四〇〇 | 二、六七三、三三三 | 二、〇八二、〇七 | 九、二 | |
| 固定資産税 | 二、五七二、三三三 | 二、二八七、五八二 | 二、三三三、七二七 | 八八、九 | |
| 自転車税 | 一、五七六、〇〇〇 | 一、四八六、〇〇〇 | 九〇〇、〇〇〇 | 九四、二 | |
| 荷車税 | 一九三、二〇〇 | 一八六、九〇〇 | 六三、〇〇〇 | 九六、七 | |

附記 本記事は毎月分載してゆきます。



保健婦だより

赤痢について

種類 細菌性赤痢(普通赤痢)
アメーバ赤痢

- 一、病原体 赤痢菌
- 二、菌の所在 常に大腸中に在り
- 三、排泄路 糞便
- 四、傳染経路及移入門
 - 接触傳染(殊に手指)により又は間接に患者又は保菌者の糞尿によつて汚染せられた水、飲食物、物品(殊に飲食器具)ハイ等に媒介せられ、口腔から入つて腸の廻盲部に於て繁殖する。
- 五、潜伏期 二日〜八日
- 六、症状
 - 一、頻繁なる下痢
 - 二、便に血液及び粘液
 - 三、裏急後重 腹部帶嘔 腰痛(下痢の際甚だし)
 - 四、下痢の際渴を訴へ脱力す。

- 五、熱はあまり高くはないが脈が多い
- 七、予防法
 - 食事につづさわる人等特に手指の消毒 ハイを取る事、糞尿の消毒 きれいな食餌
- 八、看護法
 - 一、絶対に安静
 - 二、腹部殊に下腹部に温巻法
 - 三、排便時に膈食血を起し易いから注意する。
 - 四、早期に医師の診察を受ける
 - 五、食餌は医師の指示に従ふも渴に対しては温い番茶 湯ざましを充分与へる。
 - 六、特に糞尿の消毒を嚴重にする

●疫菌について

- 一、病原体 赤痢菌又は大腸菌の一種
- 二、菌の所在 排泄路 傳染経路侵入門は赤痢と同じで主として食物を介して口より入る。
- 三、潜伏期 半日〜一日
- 四、症状
 - 一、年令 二才より七才の小児を侵す事が多い
 - 二、前駆症状 全身倦怠 嘔吐 頭痛 腰痛を伴ふ
 - 三、便 始めは不消化便 後に悪臭ある粘液便又は血便であるが、裏急後重ではない。

(18)

- 4、熱 四〇度以上に昇り脈博頻細となる。
- 5、隠症状 劇しい全身痙攣嘔吐昏睡
- 6、腹部 膨満し又は陥没し腹痛を訴える
- 7、経過 一兩日中に死亡するもの多い。良好なる場合は一乃至二日で体温降下し意識回復し一週乃至二週で全快
- 五、予防法 赤痢と同じ
- 六、看護法
 - 一、急激なる経過をとるので、早期に医者診察を受ける
 - 二、医師の来るまで時間のある場合は、ヒマシ油 十五CC〜三〇CCを服用させカリセリン流腸を行ふゆよい。
 - 三、頭部に水枕腹部に温巻法を施す
 - 四、医師の指示により番茶 氷塊は与へる様



村民の声

理髮業者の清潔を望む

一 客人

我々は未曾有の大戦争中あらゆる物價的欠乏のどん底生活を忍んで来たが、敗戦と共に平和が蘇つて来た。そして社会の秩序の逐次落付を見、又米國の援助もさる事乍ら、すべての面に物の出廻りも旺盛になり、現在では一部の特殊のものを退いては殆んど戦前に匹敵するものがある。然し乍ら一步戸外に出て、整髪をせんと店舗に入れば、まず其の保衛衛生の点に於て、室内美化の問題は別として、誠に寒心に堪えぬ店が多々あるのはどうしたことだらう

如何に自由とは言え不潔であつて消毒用の設備もせず、又椅子にかけて仰臥するとき枕辺に紙片一枚もあてぬ有様では、お客は決して良い感じをいだく者は少ないと思ふ。況んや自分の前客が皮膚病等であつた場合は、どんなにか嫌な思いをし、又伝染することによつて、社会を毒すること甚だしい。一旦感染した際は更に其の迷惑と憎悪感とを考へると計り知れないものがある。接客業者の猛省を促す次第である。

トマト立毛品評会成績表

(19)

| 部落名 | 出品者氏名 | 平均点 | 順位 | 品種名 | 作付面積 |
|-----|-------|------|----|--|-------|
| 古米 | 寺田光一 | 八三・八 | 一 | 新 ^{世界一} 三元 ^反 世界一 | 〇・六〇〇 |
| 〃 | 豊島正雄 | 八二・一 | 二 | 在米種 | 〇・八二九 |
| 大上 | 大山徳次 | 八〇・一 | 三 | 新 ^{世界一} 自種 | 〇・八〇〇 |
| 金田 | 大久保隆一 | 七八・一 | 四 | 在米種 | 〇・五〇〇 |
| 松塚 | 久保田隆一 | 七六・〇 | 五 | 三元 ^{世界一} 赤 ^反 三元 ^反 世界一 | 〇・八〇〇 |
| 〃 | 沼尻六英 | 七五・八 | 六 | 世界一 | 〇・五〇六 |
| 大下 | 酒井美津夫 | 七五・〇 | 七 | 自家種 | 〇・四〇〇 |
| 古米 | 久松恵治 | 七五・〇 | 八 | 自家採種 | 〇・六一九 |
| 土器屋 | 酒井守夫 | 七三・八 | 九 | 昭和錦 | 〇・五〇〇 |
| 古米 | 藤沢邦雄 | 七二・八 | 一〇 | 世界一 | 一・二〇〇 |
| 〃 | 久松専一郎 | 七二・七 | 一一 | ホー玉 | 〇・五二七 |
| 吉瀬 | 根本久次 | 七二・一 | 一二 | 不明 | 〇・五二〇 |
| 〃 | 上方恒治 | 七二・〇 | 一三 | 世界一 | 〇・七〇〇 |
| 古米 | 小島満 | 七二・〇 | 一四 | 〃 | 〇・五〇〇 |
| 横町 | 沼尻茂 | 七一・四 | 一五 | 不明 | 〇・六〇〇 |
| 金田 | 片岡弥一郎 | 七〇・五 | 一六 | 世界一 | 〇・五〇〇 |

| 部落名 | 出品者氏名 | 平均点 | 順位 | 品種名 | 作付面積 |
|-----|-------|------|----|------------------------------------|-------|
| 古米 | 豊島藤次郎 | 七〇・一 | 一七 | 在米種 | 〇・六二〇 |
| 金田 | 沼尻之助 | 六九・五 | 一八 | 〃 | 〇・五〇〇 |
| 吉瀬 | 根本虎雄 | 六八・五 | 一九 | 世界一 | 〇・五〇〇 |
| 中根 | 平島昭雄 | 六八・二 | 二〇 | 新 ^{世界一} 自種 | 〇・四二三 |
| 大下 | 酒井良夫 | 六七・九 | 二一 | 不明 | 〇・六一〇 |
| 大上 | 塚本久良 | 六七・五 | 二二 | 在米種 | 〇・六〇〇 |
| 金田 | 佐藤賢 | 六五・三 | 二三 | 不明 | 〇・四〇〇 |
| 上境 | 酒井隼夫 | 六五・二 | 二四 | 世界一 | 〇・六一一 |
| 〃 | 酒井繁好 | 六五・〇 | 二五 | 三元 ^{世界一} | 〇・三一五 |
| 松塚 | 久保田璋一 | 六四・五 | 二六 | 世界一 | 一・〇〇〇 |
| 中根 | 大津忠雄 | 六四・二 | 二七 | 在米種 | 〇・六二〇 |
| 〃 | 平島啓一郎 | 六四・二 | 二八 | 三元 ^{交配} | 〇・五〇〇 |
| 吉瀬 | 根本一之 | 六三・五 | 二九 | 不明 | 〇・三一〇 |
| 横町 | 宮本幸一 | 六三・〇 | 三〇 | 〃 | 〇・五〇〇 |
| 大上 | 塚本積善 | 六〇・一 | 三一 | 自家種 | 〇・四二七 |
| 大下 | 酒井豊 | 五九・五 | 三二 | 自家種 | 〇・四二四 |
| 上境 | 酒井喜市 | 五九・四 | 三三 | 世界一 | 〇・四〇〇 |
| 土器屋 | 米栖要藏 | 五九・三 | 三四 | 世界一 | 〇・四〇〇 |
| 中根 | 本橋久好 | 五八・〇 | 三五 | 一代 ^{交配} 三元 ^{世界一} | 〇・五〇〇 |

(20)

電話室

村から家庭へ
家庭から村へ

◇ トマト先進地代表視察 —— 六月三十日 又松組合長、飯島村長 豊島技師外六名は、トマトの先進地として有名な千葉県市原郡海東村を視察 組合長の立原浩一氏より、種々栽培についての説明を受け、有益な收穫を得て帰村しました

◇ 國保 厚生大臣指定となる。 —— 栄村國民健康保健は、村民各位の御協力によつて着々成績を上げて参りましたが、この程厚生大臣指定となりました。一層の發展強化を期して、隣保共助の実を挙げましょう

◇ トマト立毛品評会実施 —— 七月六日トマトの立毛品評会を実施しました。審査員久松茂 審査員豊島実、沼尻久好 大久保四郎三郎 藤沢達 久保田実、本橋一夫、出品点数三五点で、成績は別面所載の通りです。

◇ 埼玉へ公民館視察 —— 飯島村長 猪俣中学校長、七月十日十一日の両日 文部大臣表彰の優良公民館埼玉県小鹿野町へ視察のため出張しました。

◇ 大青年会の慰安演芸会 —— 七月四日 大青年会では田植後の慰安の夕として、全農映画会並に、花柳美代さんの無踊会を催し、併せて栄小唄音頭の演出を行ひ、村民から喜びの聲援をうけました。

◇ 下大津村から視察団 —— 東茨城郡下大野村から村長、校長はじめ有志五十名からなる視察団米村し村政全般に互り詳しく調査見学して行きました

◇ 大部落のカソリンポンプ —— 大部落では、このほど消防設備の緊要性から、カソリンポンプを購入し去る七月十日晴れの放水式を行つた

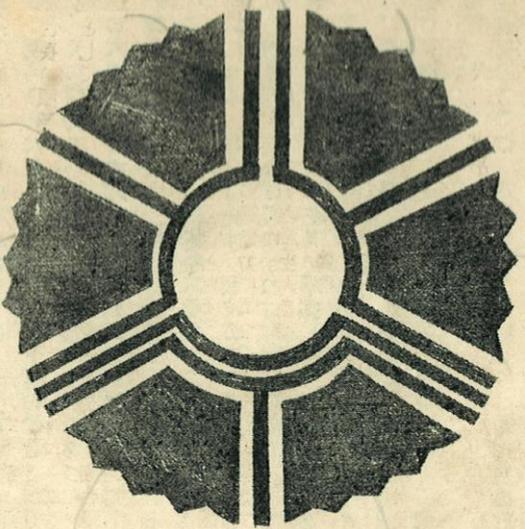
◇ 海浜学校 —— 小中学校では、七月二十四日から、二十七日まで、磯浜に於て、臨海学校を開校することになりました。本年で二回目の試みであるが、父兄から多大の成果が期待されてゐます

◇ 相次ぐトマト視察団の来村 —— 七月六日 北相馬郡高須村より約二十名 七月二日 行方郡津澄村より、数名 七月十四日 多賀町より十八名 それぞれ本村のトマト視察のため来村その熱意に打たれた。

◇ 栄村紋章制定さる。 —— 凶案家吉原毅一郎氏の好意により、別掲の如く、本村の紋章がきまりました

昭和廿六年七月制定

栄村紋章



| 上り | | 下り |
|---------|-------|---------|
| 土浦発 | 上野着 | 土浦発 |
| 4.42 | 6.26 | 6.08 |
| 5.36 | 7.16 | 7.00 |
| 準 5.56 | 7.25 | 7.52 |
| 6.16 | 7.56 | 9.44 |
| 6.56 | 8.36 | 10.00 |
| 7.56 | 9.36 | 急 10.55 |
| 9.16 | 10.56 | 1.17 |
| 急 10.12 | 11.15 | 3.55 |
| 12.04 | 1.44 | 5.14 |
| 1.22 | 3.06 | 6.14 |
| 3.21 | 5.06 | 7.22 |
| 4.46 | 6.26 | 急 7.39 |
| 5.46 | 7.26 | 8.24 |
| 急 7.07 | 8.15 | 11.17 |
| 7.16 | 8.56 | 準 11.36 |
| 9.23 | 香 孫子止 | |

| 上り (土浦行き) | | 下り (古河行き) | |
|-----------|------|-----------|------|
| 5.35 | 吉沼発 | 6.15 | 古河行 |
| 7.05 | 下妻発 | 7.35 | 下妻行 |
| 7.35 | 大曾根発 | 8.25 | 大曾根行 |
| 8.45 | " | 10.25 | 古河行 |
| 9.10 | 下妻発 | 12.35 | " |
| 10.15 | 古河発 | 13.55 | 下妻行 |
| 11.25 | " | 15.50 | 古河行 |
| 14.45 | 大曾根発 | 16.25 | 大曾根行 |
| 16.35 | 下妻発 | 17.15 | 古河行 |
| 17.10 | 大曾根発 | 17.55 | 大曾根行 |
| 18.40 | " | 18.50 | 下妻行 |
| 18.45 | " | 20.15 | 古河行 |

| 土浦より | 中根 | 大曾根 | 吉沼 | 新京道 |
|------|-----|------|------|------|
| 0 | 20円 | 30円 | 45円 | 60円 |
| 下妻 | 中結城 | 八俣 | 櫻井 | 古河 |
| 65円 | 95円 | 100円 | 110円 | 120円 |

編輯後記

六月下旬から七月中旬へかけての、雨又雨の波状収再は、期待された村の女王トマトの不慮の受難となり、すべての作物も心も腐るほどの悩ましさであった。国の大きな面の推移は、朝鮮動乱の休戦、九月はじめの講和條約の調印と、明るい転換が迫つてゐるにも拘らず、農村としては不愉快な見通しの年柄である。何れにせよ、我々は先ず、我々の力で働き、我々の努力で増産の実を挙げてゆかねばならないのだ。来月はすでに、次の白菜の準備に取り掛かる月である。又子供たちにとつては、大事な夏休みの月でもある。夏は、やはり暑いのが楽しみなのだ。眞黒く日に焼けて働く苦勞こそ、より健康的な喜びでなくてはならないであらう。

企画部の方では、八月中旬を自指して、文化祭の計画が進められている。本年は、地についた価値の高い行事で行きたいものである。猶来月号の「さかへ」は学校特輯号として実行される予定である。兎も再八月と云ふ月はすべての面で期待してほしい月である。

『原稿募集』

- 一、村民の声 意見希望批判見聞等簡明なるもの
- 一、工夫の泉 工夫発見発明等で独創的な物
- 一、右何れも二百字以内 一人各一篇づつ
- 一、電話室原稿 三四行を限度とする。報告通信行筆 質疑問答等簡潔な交換記事
- 一、論説研究詩歌句等其他弘報に関する記事
- 一、締切は毎月十日 届先 役場内弘報係宛
- 一、原稿の取捨採扱は委員会に一任の事

『さかへ』 第八号

昭和廿五年十一月三日 創刊
 昭和廿六年七月十五日 印刷
 昭和廿六年七月十五日 発行

編輯人 栄村公民館弘報委員会
 印刷人 土浦市中央町九一九 啓堂
 発行人 栄村公民館長飯島吉堯